

所管からの行政報告

1. 社会教育課

①「空知管内社会教育委員研究協議会」を開催しました。

11月28日（金）、滝川市教育支援センターを会場に講義や体験活動を通じた、空知管内社会教育委員長等研修会を開催しました。

本研修会を通じて、空知管内の社会教育委員が生涯学習社会の実現に向けて、社会教育の実践的な方策を探るとともに、社会教育委員の果たすべき役割等について研鑽を深めました。

●参加者数：50人

②「スマホ安全教室」を開催しました。

市内各小学校で「スマホ安全教室」を開催しました。

スマートフォンの所有率が拡大するとともに、道内においてもSNSを介しての青少年を巻き込んだ事件が発生していることから、インターネットを介したトラブルの事例をもとに、インターネットを正しく利用できるよう、社会教育課職員が市内小学校を対象に行いました。

●参加者数： 9月18日（木）滝川第一小学校4年生～5年生60人

10月31日（金）江部乙小学校5年生～6年生12人・東小学校4年生59人

11月25日（火）滝川第二小学校6年生43人

12月 4日（木）西小学校2年生23人

合計197人

③「滝川市民文化祭」を開催しました。

滝川市民交流プラザ・美術自然史館の2会場において「第53回滝川市民文化祭（10月25日～26日）」を開催しました。

文芸や華道、書道、写真、美術刀剣などの作品展示や、日本舞踊などの舞台発表が行われたほか、「こどもアートひろば」や「こども音楽発表会」を美術自然史館で行いました。

●来場者数：1,150人

④「伝統芸能教室」を開催しました。

10月31日（金）、江部乙小学校において「伝統芸能教室」を開催しました。

子どもたちが普段触れることの少ない伝統芸能の体験・鑑賞の機会を提供するため、市内で文化活動に取り組む3団体有志が学校を訪問しました。

●参加者数：4年生～6年生（21名）

●出 演：吟剣詩舞 和翔流・滝川三曲会・空知地区民謡連合会

⑤「國學院大學陸上競技部駅伝チーム滝川合宿受入事業」を実施しました。

9月2日（日）から5日（金）、今年で15回目となる「國學院大學陸上競技部駅伝チーム滝川合宿受入事業」を実施しました。

本事業は、本市に国学院大學北海道短期大学部が所在するという縁もあり毎年実施しており、合宿には箱根駅伝や出雲駅伝、全日本大学駅伝に出場経験のある選手も多数参加し、スポーツ振興や本市の魅力発信につながる取組となりました。

●受入者数：29人（監督・選手・トレーナー含む）

⑥「たきかわコスモスマラソン」を開催しました。

9月7日（日）、滝の川公園をメイン会場とし、国道12号線や市街地、石狩川河川敷をコースとして「たきかわコスモスマラソン」を開催しました。

本大会は、市内を含め道内外から多くの参加者を迎え、市民ボランティアや関係団体の協力により実施され、滝川市の魅力発信とスポーツ振興を目的に実施されました。

●参加者数：491人（エントリー者数532人）

⑦「アダプテッドスポーツ出前授業」を開催しました。

市内各小学校で「アダプテッド・スポーツ出前授業」を開催しました。

アダプテッド・スポーツとは、ルールや道具を工夫することで、障がいの有無や性差、年齢差を問わず誰もが楽しむことのできるスポーツのことで、講師には、北海道教育大学岩見沢校アダプテッド・スポーツ研究室の大山祐太准教授をお招きし、車いすラグビーやブラインドサッカー、ボッチャ等のスポーツを体験しました。

●参加者数：10月27日（月）東小学校4年生60人

11月 4日（火）西小学校4年生36人

11月20日（木）滝川第二小学校4年生36人・江部乙小学校5年生3人

合計135人

⑧「教育大学 STEAM 教室 in 滝川市」を開催しました。

9月13日（土）～14日（日）、滝川市こども科学館を会場に北海道教育大学と連携した「STEAM教室 in 滝川市」を開催しました。

本教室は、教育大学と連携し、子どもたちが科学・技術・工学・芸術・数学（STEAM）の分野に親しみながら、主体的に学ぶ機会となりました。

●参加者数：22人

⑨「出張ラボ in 第三小学校」を開催しました。

9月22日（月）と29日（月）の2日間、滝川市第三小学校の4年生を対象に「出張ラボ in 滝川第三小学校 伝えよう！わたしたちのまち ～滝川市の魅力を再発見～」を開催しました。

本教室は、ものづくりやプログラミングを学べる STEAM 教育を柱とした新たな海洋センターのオープンに先駆け、子どもたちが STEAM 教育について学ぶ機会となりました。

●参加者数：78人

⑩「ミラーボ CLOSING CEREMONY」を開催しました。

8月30日（土）から大日本印刷株式会社と共同で開設していたミラーボの閉設記念イベントとして、11月30日（日）滝川市こども科学館を会場に「ミラーボ CLOSING CEREMONY」を開催しました。

当日は、ミラーボ縁日をはじめ、全国初で新施設への導入を予定しているバーチャルカヌー体験、サイエンスショーなどを実施し、多くの来場者に新施設に導入を予定している体験型プログラムの魅力を体感していただきました。

●参加者数：150人

2. 図書館

①図書館視察や学校図書館訪問などを受け入れました。

9月1日～12月14日に図書館視察や学校図書館訪問、図書館訪問を受け入れました。（16回、計136名）

■図書館視察（8回・計18名）

大日本印刷株式会社（2名）、新十津川町教育委員会（2名）、旭川市立大学教授ほか（3名）児童文学作家・松居友氏ほか（3名）、國學院大學北海道短期大学部（4名）、國學院大學北海道短期大学部非常勤講師（1名）、読書工房 成松一郎氏（1名）、新十津川町議会議員ほか（2名）

■学校図書館訪問（1回・計27名）

滝川第一小学校（1年生27名）

■図書館訪問（7回・計91名）

赤平小学校（1・2・5・6年生16名）、たんぼぼの家（17名）、歌志内学園（2年生7名）、白樺幼稚園（2回・年少組、年中・年長組42名）、國學院大學北海道短期大学部文芸創作B（2回・文芸創作展開、文芸創作基礎9名）

②「生きる力を育むたきかわっ子ワクワクまなびプログラム」の各種事業を実施しました。

9月1日～12月23日に「生きる力を育むたきかわっ子ワクワクまなびプログラム」の各種事業を実施しました。

■第10回滝川市立図書館を使った調べる学習コンクール

9月1日～9月30日に小学生を対象に作品の募集を行い、145点の応募がありました。10月6日の審査会を経て19点の優れた作品を選出し11月1日に表彰式を開催しました。また10月24日～11月26日に応募全作品の作品展を開催し、家族連れのみ来館者が多数訪れました。

■としょかん☆ワクワクゲーム DAY2025 AUTUMN

10月26日に2回目の「としょかん☆ワクワクゲーム」を開催しました。ミラーボが登場し3Dプリンターやレーザー加工機を活用したワークショップを同会場で行い、相乗効果で167名の参加があり賑わいました。

■たきかわDE 調べる学習体験講座・冬休み編～メディアコース～

12月23日に小学生を対象に「たきかわDE 調べる学習体験講座・冬休み編～メディアコース～」を実施しました。講師に北海道新聞社滝川支局長をお招きし、新聞の役割や取材の仕方について学び、その後、ちびっこ記者に扮した参加者が前田滝川市長を取材し、ミニ新聞を作成しました。（17名）

③出張おはなし会を実施しました。

9月3日～12月22日に出張おはなし会を実施しました。（14回、計362名）
ニチイケアセンター滝川（2回・34名）、グループホームコスモス（2回・30名）、地域のお茶会（29名）、サービス付高齢者向け住宅カーサシーザーズ（2回・42名）、介護老人保健施設シーザーズ（2回・108名）、介護付き有料老人ホームあおぞら（36名）、ニチイケアセンターせせらぎ公園（28名）、滝川通園事業所たんぼぼの家（20名）、適応指導教室ふれあいルーム（9名）、中地区学童クラブ（26名）

④学校との連携による子どもの読書活動支援事業を行いました。

9月3日～12月3日に、学校との連携による子どもの読書活動支援事業を行いました。

■図書館学級文庫・調べ学習図書の出貸（112件・4,844冊）

■読書支援（読み聞かせ・ブックトーク）（3回・278名）

■学校図書館運営支援（図書室環境整備、展示「あべ弘土の世界」）（2校・5回）

⑤滝川市立図書館読書フェスティバル 2025 を開催しました。

9月13日～12月24日に、滝川市立図書館読書フェスティバル 2025 を開催しました。

■「アナログの魅力 ヴィンテージサウンドのタベ」（82名）

9月13日にアナログレコードを鑑賞する「アナログの魅力 ヴィンテージサウンドのタベ」を開催しました。シニア層を中心にした参加者が会場を埋め尽くし、懐かしい音楽に耳を傾け大変好評でした。

■「えほんとあそぼう！『おはなしのひろば』特別版えいごのおはなし会」（39名）

9月27日に国際交流員と連携し「えいごのおはなし会」を実施しました。英語と日本語での絵本の読み聞かせのほか、ダンスやアメリカの遊びなどを楽しみました。

■展示「嗚呼、と（アート）」

10月24日～11月26日に展示「嗚呼、と（アート）」を行いました。

■「講演会 大河ドラマ『豊臣兄弟！』をより楽しむために」（49名）

11月15日に國學院大學北海道短期大学部の堀越教授を講師にお招きし、講演会を開催しました。今年の大河ドラマに関する内容ということもあり関心が高く、帰り際、「とても良い講演会だった！」と参加者から嬉しいお声をかけていただけるほど好評でした。また、関連事業として10月24日～11月26日にはPR展示も実施しました。

■JR北海道滝川駅×滝川市立図書館連携企画 展示「滝川とともに駆ける JR北海道滝川駅」

11月28日～12月24日にJR北海道滝川駅と連携した展示を開催しました。鉄道や旅に関する本の展示や懐かしい駅の写真の掲示のほか、懐かしい駅や鉄道の写真やきっぷを模した

特製しおりや道内全駅制覇チェックリストなどを作成し配布しました。鉄道マニアの方が旭川や札幌から訪れるなど大変賑わい、特製しおりの配布枚数は1,000枚に達しました。また、滝川駅を紹介する関連展示として、10月24日～11月26日に「まちなかコンシェルジュ【お店編】Vol.72～JR北海道 滝川駅～」を実施しました。12月15日には、1階市民ロビーにおいてJR北海道が「えきねっとご案内ブース」を設置し会員募集を行いました。（31名）また、当日は展示「滝川とともに駆ける JR北海道滝川駅」の一部を市民ロビーに移動・設置し、待合の方にも楽しんでいただきました。

⑥あおぞらブチ古本もってけ祭 in WAIWAI フェスタ 2025

9月20日に空知自動車学校と連携し「あおぞらブチ古本もってけ祭 in WAIWAI フェスタ 2025」を開催しました。小説や実用書、雑誌、児童書などを市民へ提供しました。当日はWAIWAI フェスタ 2025 との相乗効果で814人の参加があり盛況でした。

⑦なかそらち図書館ネットワーク推進事業を行いました。

9月21日～12月7日に、なかそらち図書館ネットワーク推進事業を行いました。中空知の5市5町の図書館・図書室が協力し合い、絵本作家・はたこうしろうさんをお招きしたワークショップや親子向けのイベント「おはなしカーニバル」、絵本や紙芝居、音読の講座を行いました。イベントへの参加で構成自治体の住民が近隣自治体を行き来する機会が増え、中空知全体の読書推進の輪が広がりました。（4回・192名）

⑧寄付・寄贈を受け入れました。

10月28日～12月27日に寄付・寄贈を受け入れました。（2回）

■不二建設：社会貢献の一環で社員から読み終わった本を募り163冊を寄贈。

■株式会社保工北海道（札幌市）：滝川市内で工事を請け負ったことから、社会貢献の一環で65冊（10万円相当）を寄贈。

⑨どこでもドクショ。～つながる本棚～を実施しました。

12月18日に「どこでもドクショ。～つながる本棚～」を実施しました。

■地域文庫「緑寿園」の入替を行いました。（200冊）

3. 美術自然史館・こども科学館・郷土館

【美術自然史館】

企画展「滝川・羊をめぐる冒険展」を開催しました。

株式会社マツオから美術工芸品コレクション寄贈20周年を記念し、選りすぐりの30点を展示するとともに、種用場の設置にはじまる羊の畜産への挑戦、軍需用羊毛の躍進、味付けジンギスカンの研究・普及など、滝川と羊に関する歴史や文化を紹介しました。

来場者には、味付けジンギスカンで知られる滝川と羊の関係性について、より一層理解を深

めていただきました。

●会期 9月20日（土）～10月13日（月） ●来場者 1,360人

【郷土館】

企画展「鉄道用品展」を開催しました。

滝川SL愛好会と共催で、鉄道用具や鉄道写真を展示したほか、中空知鉄道愛好会の協力のもと、Nゲージの走行コーナーを設置し、鉄道ファンのみならず、多くの親子づれなどに楽しんでいただきました。

また、期間中は文化公園のSLの運転室内を見学できるよう無料開放し、多くの子どもや大人が夢中で写真撮影をする姿が見られました。

●会期 9月13日（土）～9月14日（日） ●来場者 113人